

6月19日 浦ノ内湾の環境調査およびプランクトン検鏡結果

本日、定期のプランクトン調査及び環境調査を実施しましたので結果をお知らせします。

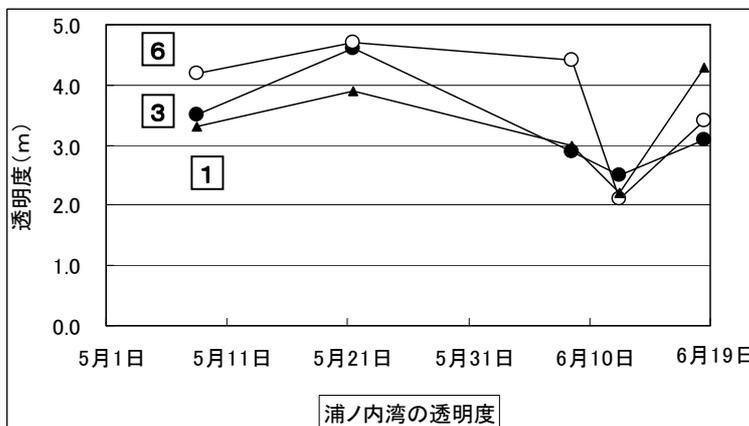
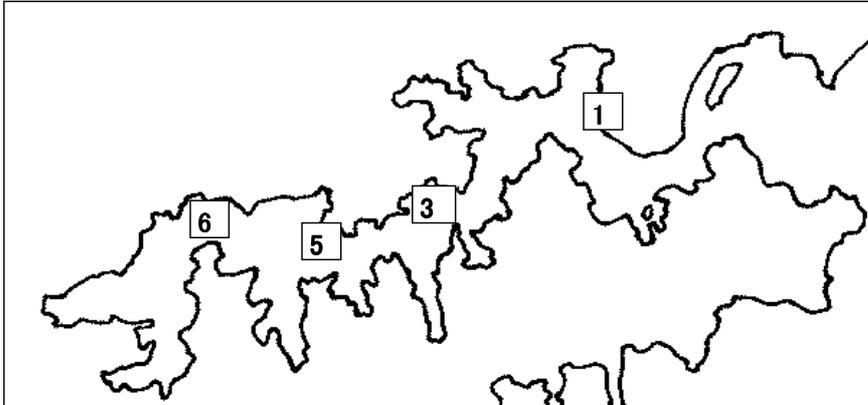
今回の調査では、有害種は出現しませんでした。

なお、珪藻類の一種が、引き続き出現しています。

湾内の海水が濁っているのは、本種が原因だと思われます。

本種は小型のプランクトンのため、正確な密度の計数は困難ですが、透明度（別紙参照）から判断すると、今回の調査では、依然として密度は高いものの、一時期よりは減少したと思われます。

6月に入って以降、湾内の養殖魚の餌食いが悪くなっていますが、珪藻類の増加がその一因になっている可能性もありますので、養殖魚の状態に注意してください。



	観測層	水温	塩分	溶存酸素
	(m)	(°C)		(mg/l)
6 水深(m) 13.1	0	25.3	32.1	8.9
	2	24.8	32.7	8.6
	5	23.8	33.1	5.1
	10	23.2	33.2	3.5
	B-1	22.9	33.2	1.3
5 水深(m) 16.1	0	25.1	31.8	8.6
	2	24.7	33.0	8.2
	5	23.5	33.1	4.6
	10	23.1	33.2	3.6
	B-1	22.6	33.2	1.8
3 水深(m) 17.6	0	24.3	32.4	7.3
	2	24.1	32.9	7.1
	5	23.6	33.1	5.9
	10	23.2	33.1	4.1
	B-1	22.5	33.2	1.5
1 水深(m) 10.3	0	23.8	32.9	6.1
	2	23.5	33.1	5.9
	5	23.4	33.1	5.8
	B-1	23.2	33.2	5.4